

ARFANEWS

発行所 / スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会 〒164-8604東京都中野区弥生町1-30-17 (有)ブックハウス・エイチディ内 電話03-3372-6251

■代表挨拶

西暦2000年というひとつの節目を迎え、また平成11年度末に当たり、ひとことご挨拶申し上げます。

本会はこの「ミレニアム」といわれる年に創会18周年を迎える予定ですが、これまで研修会、講習会、夏期合宿講座、ワークショップ、基礎教育講座を開催、さらには“Journal of Athletic Rehabilitation”という学術雑誌も発行、インターネットにホームページを開設、優れた研究に対する奨励としてのSR研究基金を設置するなど、数多くの事業を展開してきました。

のみならず、当会会員の各方面での活躍は著しく、学術研究面でも実地面でも社会的に高い評価を獲得するに至っています。

平成6年度に発足しました7日本体育協会公認アスレティックトレーナー制度におきましては、平成11年度で計351名の認定者となり、またそこから12名のアスレティックトレーナーマスターが選出されていますが、いずれも当会会員が数多く含まれています。

本会の真髄は、私利私欲にとらわれることなく、真摯に「目の前の選手に何ができるか」を問いかけてきたことでしょう。その精神は変わることなく今後も引き継がれていくことですが、時代とともに本会の役割や進路も問い直されていくのも事実です。過去を無視せず、かといって過去におぼれることなく、時代が求めるもの、時代に求めるものを追求していきたいものです。折りしも新年度向け役員刷新が行われます。新しい息吹に期待しています。

スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会

代表 村井貞夫

■総会開催のご案内

来る3月5日(日) 東京・代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催される平成11年度第2回講習会に併せて、本年度の定例総会を執り行います。会員各位には、万障お繰り合わせの上、ご参加をお願いします。参加される方は、このARFANEWSが総会資料となりますので、忘れずご持参下さい。

正会員の方は同封のハガキに出欠をご記入の上、2月22日までにご返送下さい。特に余儀なくご欠席の方は、委任状(同ハガキ)の提出をお願いします。

なお、本会定款第27条に従い、議決権は正会員のみとなりますので、ご了承下さい(準会員、学生会員は議決権はありませんが参加傍聴は可能です)。

■総会議案

A. 平成11年度事業報告

(1) 総務部

事務局

渉外部

経理部

広報部

(2) 事業部

学術部

教育部

(3) 委員会

事業カリキュラム委員会

評議委員会

JAR編集委員会

インターネット委員会

B. 平成11年度会計報告

(1) 一般会計

(2) 事業会計

C. 平成12年度運営方針

D. 平成12年度事業計画

予定事業は次項(「総会議案資料」参照)

各部・各委員会予定事業(同上)

その他

E. 平成12年度予算書

■総会議案資料(特に記されていないものは当日口頭にて発表予定)

A. 平成11年度事業報告

(1) 総務部

事務局

1. 公文書の発行・管理

a. ブックハウスHD

1. 会員管理業務

【会員数】

正会員120名、準会員199名、学生会員26名、計345名

【平成11年度新規入会者】

準会員63名、学生会員16名、計79名(平成12年1月26日現在)

2. 会員カードの発行、管理業務

3. 各事業への事務的サポート

b. トータルケアシステム

1. 理事会の開催準備、会議資料、議事録の作成、管理業務

2. 日常の機器物品のメンテナンス、管理業務

3. 資料集の管理

4. 各事業のビデオによる記録、保存

5. 各事業への機器物品の貸出し業務
渉外部

1. 賛助会員の募集、管理業務、平成11年度賛助会員リスト作成

経理部

1. 一般経理

・ 会員年会費納入管理

・ 年会費未納者への督促状の発送

・ 各部・各委員会、事務局等の必要経費の支出業務

・ 財務管理

・ 平成11年度(仮)収支計算報告書作成

・ 平成12年度予算案作成

2. 事業経理

・ 各事業への会計業務のサポート

広報部

1. 年4回会報の発行

2.各事業に関連する印刷物刊行の補助

3.関連雑誌への各事業告知掲載の依頼

(2) 事業部

学術部

1.講習会の開催、運営（年度内2回）

●第1回講習会

会期：平成11年6月6日（日）

テーマ：「アイシング再考」～急性スポーツ外傷の救急処置の理論と応用～

場所：横浜市スポーツ医科学センター（横浜国際総合競技場内）

参加者：会員74名、一般61名（計135名）

内容：

「靱帯の治癒過程とリハビリテーション」福林徹先生（東京大学大学院生命環境科学系）、「アイシングの冷却効果と臨床的意義」池田耕太郎先生（筑波大学臨床医学系整形外科）、「スポーツ現場における救急処置の工夫」小林寛和先生（7スポーツ医・科学研究所）、「亜急性期の足関節捻挫への対応」寺園圭一先生（城所整形外科）

●第2回講習会

会期：平成12年3月5日（日）

テーマ：「スポーツ選手の下肢慢性外傷への対応」～ファンクショナル・テーピングの応用～

協力：FTEX Institute

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

内容：「今後の事業案内」の項参照

2.研修会学術部による各事業部へのサポート

第17回研修会一般演題：研究奨励賞の審査

教育部

1.基礎教育講座（夏期合宿講座と同時開催）および夏期合宿講座、ワークショップの開催、運営（年度内各1回）

●基礎教育講座

会期：平成11年8月27日（金）

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

参加者：会員11名（一般募集せず）

受講料：会員10,000円

内容：講義1「スポーツの動作分析～基礎と臨床～」蒲田和芳・横浜市スポーツ医科学センター、講義2「スポーツにおける整形外科的疾患」鳥居俊・早稲田大学人間科学部、講義・実技3「ランニング動作について」、講義・実技4「ジャンプとステップ動作について」唐沢豊・茅ヶ崎市立病院

●第14回夏期合宿講座

会期：平成11年8月27日（金）～29日（日）

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

受講料：会員35,000円、一般55,000円

テーマ：「スポーツにおける動作分析とアスレティックリハビリテーション」

内容：上記基礎教育講座の内容に加えて

講義・実技5「投動作について」宮本三千男・多摩リハビリテーション学院、講義・実技6「武道について～剣道を中心に～」紺野正紀・都立蔵前工業高校、講義・実技7「コンタクトスポーツについて」小林寛和・スポーツ医科学研究所、「症例検討会」寺園圭一・城所整形外科、岡村幸枝・トータルケアシステム

●第8回ワークショップ

会期：平成12年2月5日（土）～6日（日）

場所：2月5日 - 熊本市・火の国ハイツ、6日 - 同・熊本機能病院

受講料：会員30,000円、一般50,000円

テーマ：「肩関節外傷に対するアスレティック・リハビリテーションの実際」

参加者：本紙編集集中に開催のため、総会で口頭発表

内容：講義1「肩関節の運動学」日野邦彦・熊本機能病院、講義2「肩関節の外傷」浦田節雄・麻生田整形、講義3「肩関節外傷の評価」尾崎勝博・野崎東病院、講義4「肩関節に対するアスレティック・リハビリテーション」宮下浩二・スポーツ医・科学研究所、実技1「肩関節脱臼・亜脱臼に対するアスレティック・リハビリテーションの実際」松田孝幸・スポーツコンディショニングプロモーション」IN、実技2「投球障害に対するアスレティック・リハビリテーションの実際」能勢康史・国士舘大学

(3) 委員会

事業カリキュラム委員会

評議委員会

JAR編集委員会

インターネット委員会



第14回夏期合宿講座の「武道について～剣道を中心に～」より

B．平成12年度運営方針

(平成12年1月27日の理事会にて、新理事として、白川守、浦辺幸夫、村木良博、加賀谷善教、小林寛和、蒲田和芳の6氏が選出された。)

D．平成12年度事業計画

a) 予定事業は以下の通り

研修会、夏期合宿講座(基礎教育講座同時開催)、ワークショップ(以上年1回)、講習会(年2回)

b) 各部・各委員会予定事業は下記の通り

○ 各部

(1) 総務部

事務局

1. 公文書の作成・管理
 2. 理事会の開催準備、会議資料、議事録の作成、管理業務
 3. 会員管理業務
 4. 会員カードの発行、管理業務
 5. 各事業への事務的サポート
 6. 資料集の管理
 7. 日常の機器物品のメンテナンス、管理業務
 8. 各事業の記録用ビデオの保存、管理
 9. 各事業への機器物品の貸出し業務
- * 3.～9.については事務委託予定

渉外部

1. 賛助会員の募集、管理業務、平成12年度賛助会員リスト作成

経理部

1. 一般経理
 - ・ 会員年会費納入管理
 - ・ 年会費未納者への督促状の発送
 - ・ 各部・各委員会、事務局等の必要経費の支出義務
 - ・ 財政管理
 - ・ 平成12年度収支計算報告書作成
 - ・ 平成13年度収支計算予算案作成
2. 事業経理
 - ・ 各事業への会計業務のサポート

広報部

1. 年4回会報の発行
2. 各事業に関連する印刷物刊行の補

助

3. 関連雑誌への各事業告知掲載の依頼

(2) 事業部

学術部

1. 講習会の開催、運営(年度内2回開催を予定)
2. 研修会一般演題審査の実施
3. 奨励金・助成金・調査援助費の授受手続き

教育部

1. 基礎教育講座の開催
2. 第15回夏期合宿講座の開催
3. 第9回ワークショップの開催
4. 研究会テキスト(仮称)発刊にむけての継続的検討

○ 各委員会

事業カリキュラム委員会

評議委員会

JAR編集委員会

インターネット委員会

○ 各事業

第18回研修会

第15回夏期合宿講座

○ その他

E．平成12年度予算書について(資料は当日配付)

■ 今後の事業案内

平成11年度第2回講習会のご案内「ファンクショナルテーピング」は身体機能やスポーツ動作を十分に考慮し、最小限の固定でより高い身体機能を発揮させるためのテーピング法として知られています。これは日本体育協会スポーツ診療所の理学療法士である川野哲英氏(当会理事)によって1988年に提唱され、スポーツ現場で広く普及するとともに応用・発展してきました。その後、著書の出版から10年を経た1997年には、ファンクショナルテーピングなどの教育・認定を行うFTEX Instituteを設立されました。今回は、このファンクショナルテーピングの進化を振り返り、もう一度その基本に立

ち返りつつ、その応用について深く考える機会を設けたいと思います。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

日時：平成12年3月5日(日)9:00(受付開始)～16:00

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター「センター棟310号室」
交通機関：小田急線「参宮橋」駅、千代田線「代々木公園」駅下車

協力：FTEX Institute

受講料：会員5,000円、一般7,000円

テーマ：「スポーツ選手の下肢慢性外傷への対応～ファンクショナル・テーピングの応用～」

内容：

講義1「スポーツ選手の下肢慢性外傷の病態と治療」中嶋耕平・東京都立墨東病院整形外科

講義2「下肢慢性外傷のメカニズムとファンクショナルテーピング-1：膝関節」蒲田和芳・横浜市スポーツ医科学センター

講義3「下肢慢性外傷のメカニズムとファンクショナルテーピング-2：足部・足関節」野村亜樹・7日本体育協会

症例報告「下肢慢性外傷に対するファンクショナルテーピングの応用」岡村幸枝・(有)トータルケアシステム、近藤 仁・井戸田病院、東利雄・熊本機能病院

問い合わせ先：

板橋 哲(横浜市スポーツ医科学センター理学療法室)

Tel:045-477-5065(直)

FAX:045-477-5070

e-mail:kazg@kk.ij4u.or.jp(蒲田和芳)

第18回研修会のご案内

期日：平成12年11月11日(土曜日)12日(日曜日)の2日間

開催場所：広島大学医学部広仁会館(広島市南区霞1-2-3)他

問い合わせ先

Tel:082-257-5421(浦辺)

082-257-5426(川口)

* 内容については次回ARFAニュースに記載予定。

■事業報告

第17回研究会終了報告

平成11年10月23日(土) 24日(日)の2日間、川崎市産業振興会館にて当会主催第17回研修会が開催されました。7日本体育協会、7日本オリンピック委員会(JOC)、神奈川県教育委員会、7神奈川県体育協会、川崎市教育委員会、7川崎市体育協会のご後援をいただき、当日は153名(会員100名、学生会員11名、一般15名、一般学生27名)が参加されました。また23社の協賛企業(展示企業12社、広告5社)にご協力いただきました。

今回のテーマは、「スポーツ選手のリコンディショニング～スポーツフィールドにおける後遺症対策～」とし、後遺症の考え方や国際大会、日常スポーツ現場、臨床における後遺症対策について日本のスポーツ医療はなぜその対応が遅れていたのか基調講演、特別講演、シンポジウム1においてその現状を論じていただき、今後の展望を担いご講演いただきました。

シンポジウム2では、1部でスポーツ選手のリコンディショニングについて、考え方や各施設での対応や方策についてシンポジストの先生方にご講演、議論をしていただきました。2部においては、対象をスポーツからさらに広げた視点で捉え、社会的な問題としてリコンディショニングの考え方についてご提示していただき今後の21世紀スポーツ医療について示唆され、参加の皆様や社会に対し発信されたものと思います。

1日目の企業プレゼンテーションは、今回より初めて企業の皆様が各社ビジュアルエイドを用い、スポーツ医療の担い手となる機器のご発表をされ、企業の皆様から参加者の皆様にご提示できたことが好評でした。

準備においては、会員の皆様、企業の皆様から多大なご協力のもと貴重なご講演、ご提言を賜り、無事盛会にて終了する事ができましたこと



第17回研修会シンポジウム2より(右から川野、黒沢、川原の3先生と指定発言の岩崎氏)

準備委員を代表し御礼申し上げます。ありがとうございました。

(第17回研修会長 寺園圭一)

第17回研修会に参加して

今回、私は「スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会」に初めて参加させていただきました。医師、柔道整復師、理学療法士、鍼灸師、スポーツトレーナーなど多職種からの様々なお立場でのご講演が聴きたいへん勉強になりました。

第17回研修会のテーマである、「リコンディショニング」は実際の医療現場において後遺症をかかえる人の多さを実感していた私にとって非常に興味深いものでした。

シンポジウムでは、国際競技現場や各施設でのリコンディショニングの実際が紹介されていましたが、スクリーニングにより外傷発生要因を発見し、それを前もって解決するということはスポーツ活動を行う上で非常に有効な安全対策であると思いました。しかし、実際の医療現場において未然に外傷を防ぐということはたいへん難しく、外傷が発生してから関与が殆どではないでしょうか。当院でも不適切な動作や姿勢、不適切な運動量、後遺症による身体

機能の低下や外傷は、スポーツ選手をはじめとして中高年者にも非常に多く遭遇します。この研修会では、このような身体機能の低下や後遺症に対する考え方、医療機関外でのリコンディショニングの現状、問題点を知ることができました。

演題の発表についても同職の先生方の研究もレベルが高く、スポーツ動作の捉え方からリハビリテーションの方法までの過程などたいへん勉強になりました。

この研修会で自身の臨床現場や職域、医療の考え方について、多くの事が参考になりましたので、また機会があれば是非講習会をはじめ研究会に参加させていただきたいと思っています。この度は参加させていただいてありがとうございました。

(おゆみの整形外科クリニック
吉野千鶴、理学療法士、一般参加)

■当会連絡先・URL

FAX 03-3372-6250

e-mail arfa@mx7.mesh.ne.jp

URL <http://www.atacknet.co.jp/ARFA/index.html>

スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会
第14回夏期合宿講座収支計算報告書
(平成11年基礎教育講座収支計算報告書)
(平成11年8月27日～29日開催)

平成11年9月1日締

勘定項目	予算額	決算額	差異()	備考
収入の部	円	円	円	
夏期合宿講座参加費				
会員	1,400,000	1,330,000	70,000	35,000円×38名
一般	275,000	385,000	11,000	55,000円×7名
展示料	5,000	5,000	0	5,000円×1社
基礎教育講座参加費				
会員	50,000	110,000	60,000	10,000×11名
一般	0	0	0	平成11年度募集せず
講習会収入合計 A	1,730,000	1,830,000	100,000	
事業費	20,000	20,000	0	
収入合計 B	1,750,000	1,850,000	100,000	

支出の部	円	円	円	
通信連絡費	50,000	49,160	840	切手代、電話代、発送料
事務消耗費	30,000	27,262	2,738	事務物品代、コピー代
運営費	200,000	124,000	75,800	*1
会場費	70,000	67,100	2,900	会場借用料
講演費	350,000	339,812	10,188	*2
懇親会費	200,000	154,909	45,091	
宿泊費	400,000	339,750	60,250	*3
人件費	200,000	165,000	35,000	準備および当日アルバイト
資料作成費	200,000	101,030	98,970	資料集作成費
雑費	30,000	25,766	4,234	
講習会支出合計 C	1,730,000	1,393,989	336,011	

差引差額 A - C	0	436,011	436,011	
差引差額 B - C	20,000	456,011	436,011	

*1：会議費、交通費、準備委員宿泊費・食事費、反省会費他

*2：外部講師1名、内部講師6名、内部シンポジスト3名、座長1名（交通費・宿泊費・接待費含む）

*3：宿泊費・食費 / 2,300円×2泊 + 朝食490円×2食 + 昼食640円×2食 + 夕食690円×1食 = 7,550円（1人当たり）

スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会
第17回研修会収支計画報告書
(平成11年10月23～24日開催)

平成11年11月26日締

勘定項目	修正予算額	決算額	差異()	備考
収入の部	円	円	円	
参加費 会員・準会員	1,515,000	1,560,000	45,000	15,000円×100名・3000円×20名*1
学生会員	195,000	105,000	90,000	9,000円×11名・3000円×2名*1
一般	515,000	393,000	122,000	25,000円×15名・3000円×6名*1
一般学生	255,000	348,000	93,000	12,000円×27名・3000円×8名*1
協賛費	190,000	290,000	100,000	賛助会員20社・非賛助会員3社
展示費(企業展示)	470,000	1,140,000	670,000	*2
(書籍展示)	40,000	40,000	0	賛助会員2社
広告費	80,000	210,000	130,000	本文1頁×3社・1/2頁2社
雑収入	0		0	
研修会収入合計 A	3,260,000	4,086,000	826,000	
事業費	300,000	300,000	0	
収入合計 B	3,560,000	4,386,000	826,000	

支出の部	円	円	円	
通信連絡費	100,000	123,720	23,720	切手代・発送代等
事務消耗費	40,000	52,053	12,053	
運営費	300,000	352,553	52,553	会議費・交通費等
会場費	900,000	887,660	12,340	看板代・器材借用料含む
講演費	950,000	881,162	68,883	講師謝礼・交通費・接待費等
懇親会費	400,000	282,450	117,550	懇親会諸経費
人件費	250,000	150,000	100,000	準備および当日アルバイト
事務委託費	100,000	100,000	0	DM発送業務委託
資料作成費	30,000	8,280	21,720	
広告宣伝費	150,000	190,632	40,632	*3
雑費	40,000	53,094	13,094	
研修会支出合計 C	3,260,000	3,081,604	178,396	

当期収支差額 A - C	0	1,004,396	1,004,396	
次期繰越金 B - C	300,000	1,304,396	1,004,396	

*1: 当日受付差額分

*2: 賛助会員1小間(8,000円)×9社・2小間(150,000円)×2社、非賛助会員1小間(120,000円)×1社

*3: ポスター及びリーフレット作成及びDM資料作成費